

林業技術センター
普及班便り
(第311回)

いわての林業人10

一 はじめに

今月の普及班便りでは、岩手町の白樫誠人さんをご紹介します。



白樫 誠人さん

二 人物紹介 【プロフィール】

白樫さんは岩手町の生まれ。お父さんが代表を務めている有限会社白樫林業に勤務されています。

盛岡市内の高校を卒業後、東京の専門学校に進学し、その後都内の会社へ就職されました。

報道専門のバイク便、いわゆるプレスライダーとして新しい情報を確実に届ける役割を担いながら5年ほど勤められました。いずれは家業である林業を継ぐことになるだろうと考えていたこともあり、地元に戻つ

て現在の有限会社白樫林業に入社されました。

平成14年度にはグリーンマイスターの認定を受け、以来、総合的な林業技術者として、本格的に林業に従事されています。

白樫さんに趣味を伺ったところ、バイクが好きとのこと。

前々から友人に北海道でのツーリングに誘われているようですが、仕事の都合がつかないため、なかなか出かけられないとのことでした。



広葉樹の伐採作業現場

三 仕事の状況 (1) 初めての仕事

白樫さんが家業である林業に就かれて、初めて本格的に行ったのは伐倒作業だったそうです。

初めての作業が伐倒とはさぞかし大変だったのではないかと想像され

ますが、やはり不慣れな作業であったため、伐つていた木が狙っていた方向と反対の場所に倒れてしまい、チェーンソーの手入れをしていたほかの作業員に当たりそうになったそうです。

このときは運よく事なきを得たそうですが、このことがあって以来、人一倍安全な作業を心がけているとのこと。

(2) 現在の仕事

有限会社白樫林業の主な業務は、夏場は国有林の生産請負、冬場は民有林の伐採作業が主体とのこと。生産した材は近郊の製材所や岩手町内のチップ工場に納入しているとのこと。

白樫さんの現在の仕事は、現場代理人として伐採作業現場の安全管理を任されているほか、作業員に欠員が出た場合などには実際に現場に入つて伐倒・荷掛け作業を行うこともあるそうです。

また、現場作業だけではなく、会社の事務的な仕事も担当するなど、岩手町近郊を中心に多忙な毎日を過ごされておられます。

(3) 今後の目標

白樫さんに今後の目標を伺ったと

ころ、天候に左右されない安定的な素材生産や林業労働災害の軽減のため高性能林業機械の導入を進め、国産材の安定供給を目指したいとのこと。また、社会保障制度の充実など、林業の業界全体の底上げが必要と感じているといったご意見も聞かせていただきました。

林業に真剣に取り組む白樫さんの姿から、これからの岩手県の林業を担う大きな力を感じました。



伐倒作業中

四 おわりに

普及班便りでは、これからも森林・林業に携わるさまざまな方々を紹介していきます。

皆様の地域で活躍されている方がおられましたらご連絡ください。

林業技術センター普及班